

「いや！」にどう対応するか

- 「いけません！」で押さえつけると
- こどもの意志のめばえを抑えてしまう
- 自分で選ぶ体験ができなくなる
- さらに、本音をだせなくなる
- そうではなくて
- 自分で決めたかったことを認める余裕
- 「いや」は自立のメッセージ

2歳児はなぜ「いや・だめ」と言うか

歩き廻れる
自分を実感できる
一方的に押し付けられたことからの脱皮
ちょっと待ってよ、僕が決めるんだから
自我意識のめばえ
同じでは違いがみえない
だから「いや！」と言う

A,Aミルン くまのプーさんの詩

6つになった

1つのときは なにもかもはじめてだった
2つのときは ぼくはまるっきり しんまいだった
3つのとき ぼくはやっとぼくになった。
4つのとき ぼくはおおきくなりたかった
5つのとき なにからなにまでおもしろかった
いまは6つで ぼくはありったけおりこうです
だから いつまでも ぼくは6つでいたいとおもいます

自我のめばえ

- 2歳から3歳を過ぎるころから
- なんでも「いや！」
- 「自分でする」という自己主張
- 第1反抗期ともいう
- トイレ(オムツが取れる)・食事・着替えが徐々にできる
- なによりも自由に移動ができる
- 達成感 自分でできたといううれしさ
- 満足感